

予 算 要 求 資 料

令和 8 年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：医務費 目：医務費

事業名 医療勤務環境改善体制整備事業費補助金 (地域医療介護総合確保基金：区分 6)

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部医療福祉連携推進課医療人材確保係 電話番号：058-272-1111 (内3278)

E-mail：c11230@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 88,750 千円 (前年度予算額： 91,726 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	91,726	0	0	0	0	0	91,726	0	0
要求額	88,750	0	0	0	0	0	88,750	0	0
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を推進する観点から、医師の働き方改革、各医療関係職種の専門性の活用、地域の実情に応じた医療提供体制の確保を進めるため、長時間労働の医師に対し医療機関が講ずべき健康確保措置等の整備や地域医療構想の実現に向けた医療機関の取組に対する支援の強化等の措置を講ずる必要がある。

(2) 事業内容

I 地域医療勤務環境改善体制整備事業、II 地域医療勤務環境改善体制整備特別事業

長時間労働医師がいる医療機関において労働時間の短縮を進めていくため、勤務医の労働時間短縮のための体制整備に係る経費を補助する。

III 勤務環境改善医師派遣等推進事業

長時間労働医師が所属し、地域において重要な役割を担う医療機関の医師の時間外・休日労働時間を短縮すること及び地域医療提供体制を確保することを目的に、長時間労働医療機関への医師派遣等を行う医療機関等の運営等に対する支援を行う

(3) 県負担・補助率の考え方

I・II

補助基準額：最大使用病床数×133千円

※「更なる労働時間短縮の取組」を実施する医療機関は、1床当たりの標準単価を最大266千円まで可とする。

補助率：県1/2、病院1/2

III

補助基準額：1,250千円×派遣月数×（実際の派遣勤務日数／派遣医療機関における派遣開始月から終了月までの間の総診療日数）

補助率：基準額と対象経費を比較して少ない方の額に3/4

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	88,750	勤務医の労働時間短縮のための体制整備に対する補助
合計	88,750	

決定額の考え方

4 参 考 事 項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・「清流の国ぎふ」創生総合戦略
- ・第8期保健医療計画

(2) 国・他県の状況

勤務医の労働時間短縮のための体制整備に係る経費を助成するために予算を計上している都道府県：45都道府県

(3) 後年度の財政負担

地域医療介護総合確保基金

(4) 事業主体及びその妥当性

医療従事者の勤務環境の改善を促進するための拠点としている岐阜県が主体となって医師の働き方改革を推進していく上でも妥当な補助事業であると言える。

事業評価調書（県単独補助金除く）

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

地域医療確保暫定特例水準の終了年限の目標である2035年度末までに、各医療機関における自院、副業・兼業先での時間外・休日労働時間を年960時間以内にする。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R4)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R9)	達成率
①本事業を通して医師の労働時間短縮に向けた取組を行う施設数	0施設	1施設	2施設	2施設	2施設	50%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	<div></div>
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和5年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>令和5年度には、長時間労働医師がいる医療機関において労働時間の短縮を進めていくため、勤務医の労働時間短縮のための体制整備に係る経費として以下の通り実績があった。</p> <p>1 医療機関 192,000円</p>
	指標① 目標：1施設 実績：1施設 達成率：100 %
令和6年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>令和6年度には、長時間労働医師がいる医療機関において労働時間の短縮を進めていくため、勤務医の労働時間短縮のための体制整備に係る経費として以下の通り実績があった。</p> <p>1 医療機関 43,015,000円</p>
	指標① 目標：1施設 実績：1施設 達成率：100 %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 3	令和6年度の医師の働き方改革施行に伴い、地域医療確保暫定特例水準の医療機関は令和17年度までに年時間外・休日労働時間を960時間以内に抑える必要があり、本事業の意義は増加している。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	補助対象事業者に対し、必要な補助が実施できており、一定の効果がみられている。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 1	全医療機関に対し必要な調査を行っており、医療機関の実情に応じて申請いただくことが可能となっている。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 本事業に基づき、医師の時間外・休日労働時間の短縮が実際に図れているか、各医療機関の労働時間短縮計画等で都度確認する必要がある。

(次年度の方角性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 全国的に診療報酬（地域医療体制確保加算）の対象とならない960時間超の医師がいる医療機関等を対象に実施している事業であるため、継続して行う。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課 組み合わせる理由 や期待する効果 など	
--	--